

令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1 事業実施の成果

令和5年度は、復興庁「心の復興」被災者支援事業補助金、宮城県自死対策強化事業補助金などを受け活動を行いました。

今年度の「施設訪問活動」については、新型コロナウイルス感染症対策が緩和された影響でわずかながら訪問要請をいただきましたが本格的な活動には至っていません。その他の活動については感染対策を講じ活動を進めました。

傾聴の普及啓発と若い世代の孤立防止に向け、モノ作りを取り入れながら「街中カフェ」を実施しました。参加者も多く好評です。街中カフェ参加者から傾聴茶話会などへの利用者がおり、街中カフェの成果が表れました。東日本大震災後から継続して行っている傾聴カフェは、仙台市、名取市、岩沼市、亶理町の各自治会の協力を得ながら実施しました。音楽を取り入れた「音楽カフェ」については、コロナ禍で中止していましたが今年度から再開し、革ブローチ・革カードケース・ちぎり絵・折り紙・フラワーアレンジメントのモノ作り、箱庭を活用した「箱庭カフェ」も行いました。県内各所の他、福島県南相馬市県営住宅上町団地などでも実施し、より多くの方々と交流を図ることができました。七ヶ浜町婦人会等の依頼で傾聴講座を開催、「フラワーアレンジメント」と「ちぎり絵」のワークショップにたくさんの町民が参加していただき、交流を深めることができました。

「個人宅訪問」「電話相談」「メール相談」も実施。「傾聴サロン」は、5月より気仙沼市に新設し、三陸新報の論説に掲載されました。今年度から合わせて5地域で実施しました。電話回線を増設した電話相談については週6日(月曜日～土曜日)実施したことで利用者の3割増大につながりました。安否確認を兼ねた孤立防止策として「ふれあい電話サービス」も実施しました。

能登半島地震の被災者支援として電話相談を始めました。チラシ300枚を作成、富山市の傾聴ボランティア団体ピアの会に送付し被災地で配布していただきました。また、河北新報社に能登半島地震被災者支援活動の紹介記事を掲載していただきました。

子育て支援事業は、「こひつじるーむ」「冒険遊び場」、従前より連携していました若林区子育て支援「わか隊」にボランティアを派遣し活動しました。

傾聴ボランティア団体「みやぎ傾聴ネットワーク」とも連携を図り交流すると共に、富谷、塩釜、多賀城でスキルアップ研修などに寄与しました。

人材育成面では入門講座を仙台市で、養成講座を仙台市と名取市で開催。各市町村からの依頼による傾聴ボランティア養成講座、基本講座を出前し、県内各地で実施することができました。会員スキルアップ研修としては、電話相談態勢の充実を図るため電話相談員養成講座を2日間コースで開催。また、リーダー研修、現任者研修など合計12回開催し、電話相談員のスキルアップと増員を図ることができました。会員研修は、2回開催。また新入会員対象の研修を1回開催し、会員のスキルアップを図りました。メール相談研修も2回開催。来年度以降の態勢強化に繋がりました。

公開講座は年2回開催。宮城学院女子大学准教授の浅野晴哉氏に「犯罪被害者等の心理と支援にかかわって」をテーマに、東北福祉大学大学院教授の渡部純夫氏には「コロナ禍による心理的ストレス」をそれぞれに講演頂き、一般の方及び賛助会員等大勢の参加があり好評でした。

研修部で取りまとめた会員の活動記録を各支部定例会で勉強会を行い、会員のスキルアップを図りました。

今年度も「みやぎチャレンジプロジェクト」に参加し、当会活動資金調達に共同募金会と一緒に寄付の呼びかけを行いました。目標額150万円を達成することができました。お礼状に添えた、小さな

折り紙をあしらった手作りのしおりはご寄付者から大変喜ばれました。今年度はコロナ対策の緩和により、イオンスーパーセンターでの募金活動を再開することが出来ました。

広報活動として、当会発足 15 年目の節目を迎えるにあたり記録誌発行を計画。編集プロジェクトを立ち上げ、会議等を 5 回実施し、これまでの傾聴活動や傾聴のスキルを広く紹介したいと考えております。傾聴活動の報告と啓発を含めて、会報「傾聴だより」を年 3 回発行しました。

みやぎの女性つながりサポート型支援事業を受託し、県南地域を対象に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、不本意に退職や収入減、苦境に陥ったなど、さまざまな困難な課題や不安を抱える女性や女の子を重点的に支援目的とし、電話相談、対面相談、出張相談会、メール相談を行いました。また「岩沼子ども食堂プラス」「名取わくわくフェスタ」に生理用品を配布しました。

1 2 月に全体会を開催、名取支部と南支部が担当。参加者は 69 名。グループワークで「傾聴に対する思い、活動内容への考え」「これからやってみたいこと、やって欲しいこと」について意見を出し合い有意義な時間となりました。また、児玉支部長が絵本朗読「きみのことが大好きだよ」を披露してくださいました。全体会終了後にバザーを開催、売上金 3 万 4 3 2 0 円、品物提供者は 4 0 名でした。

3 月 1 0 日に岩沼市で開催されたオンライン防災 2024 で傾聴カフェと当会の活動が紹介されました。また、名取市で行なったスキルアップ講座、12 月の街中カフェ・クリスマスリース作りの模様が河北新報に掲載されました。

コロナ感染症対策が緩和されたとはいえ、今年度も模索しながらの活動でした。会員の活動場の提供と傾聴の普及啓発、孤立対策を目的としてスタートした「街中カフェ」は参加者も多く、新たに企画した「男性カフェ」は男性会員の協力によりそれぞれ今後の展開が期待されます。今年度も社会福祉の増進に寄与することを目標に、地域住民の心に寄り添い傾聴活動を推進しました。

※その他助成金先 ・ 2 0 2 3 年度日本郵便年賀寄付金配分金 ・ みやぎの女性つながりサポート型支援

事業補助金

・みやぎチャレンジプロジェクト配分金・生活協同組合あいコープみやぎ助成金